

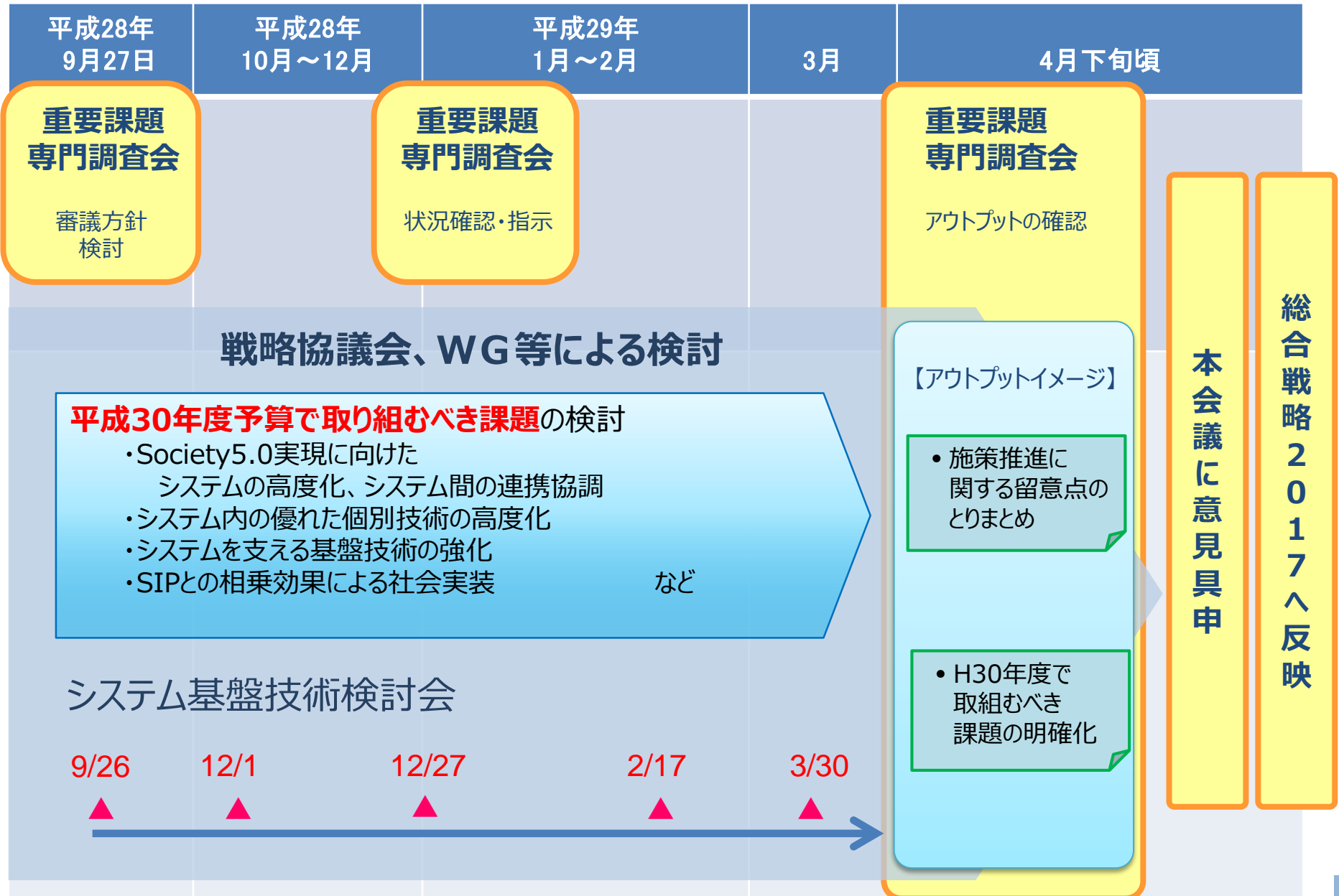
科学技術イノベーション総合戦略2017について



平成29年3月30日
内閣府



平成28年度重要課題専門調査会、システム基盤技術検討会のスケジュール



・新たな経済社会としての「Society5.0」を実現するプラットフォーム

- 1) 新たな価値やサービスの創出の基となるデータベースの構築と利活用
- 2) プラットフォームを支える基盤技術の強化
- 3) 知的財産戦略と国際標準化の推進
- 4) 規制・制度改革の推進と社会的受容の醸成
- 5) 能力開発・人材育成の推進

総合戦略2017記載のポイント①

1)新たな価値やサービスの創出の基となるデータベースの構築と利活用

- ① 1 1 システムの個別システムの高度化に向けて、データベース（DB）の構築を着実に進める。
- ② 様々なデータの収集・分析・流通等を円滑にする環境整備や技術開発。
- ③ 地理系DB、環境系DB、サイバーセキュリティ系DB、材料系DB、医療系DBの構築の取組。
- ④ DBの課題として、APIやデータフォーマットの整備、運用管理の効率化等、具体的な取組。

2)プラットフォームを支える基盤技術の強化

- ① 人工知能技術、IoTシステム構築技術、ビッグデータ解析技術等の所謂AI関連技術。
- ② 革新的な基礎研究から社会実装までのAI研究開発の推進。
- ③ AI関連技術以外のサイバー空間関連技術として、サイバーセキュリティ技術、デバイス技術、ネットワーク技術、エッジコンピューティング。

総合戦略2017記載のポイント②

3)知的財産戦略と国際標準化の推進

- ①産業競争力の強化を図る上で、オープン・アンド・クローズ戦略も考慮に入れ、海外の知見を取り入れる。
- ②プラットフォーム構築に当たっては、データベース構築やデータ利活用を促進するインターフェースやデータフォーマット等の標準化を推進

4)規制・制度改革の推進と社会的受容の醸成

- ①規制やルール of 制定においては、現場での課題を踏まえて、社会実装を見据えた先取りした検討。
- ②科学技術イノベーションの進展によるE L S I（倫理、法、社会的影響）の視点を含め、産業界、学术界を交えた包括的な研究の実施

5)能力開発・人材育成の推進

- ① 高度化する脅威に対するサイバーセキュリティの確保として、人材育成の実施。
- ② 先進的で高度な科学技術、理科・数学教育、情報教育等を通じた児童生徒の意欲と能力・才能の伸長。